

青少年は
地域社会から
はぐくむ
～愛のひと声運動～

みちびき

発 刊

福島市青少年センター
福島市青少年センター補導委員会

福島市宮下町1番15号
TEL 535-7310
FAX 535-7310

～青少年健全育成のために～ 街頭補導活動を実施しています

福島市長から委嘱された補導委員123名が、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことを目的として、学校や駅前周辺などを中心に巡回活動を行っています。

青少年を見守り、健やかに成長できるように思いやりをもって「愛のひと声」をかけています。

通 常補導活動

学校周辺のほか福島駅前の娯楽施設やアオウゼ、こむこむなど学校帰りに子どもたちが集まりそうなところを重点的に巡回しています。道行く子どもたちに「気をつけて帰るんだよ」など愛のひと声をかけています。

夜間には自転車の灯火指導も行っています。



愛のひと声運動

子どもたちに安心感を

福島市青少年センター
補導委員会

会 長 佐藤 達哉



新年早々変なメールが届いた。私のクレジットカードがスキミングされた恐れがあるので、決済内容を確認してほしいというものだ。そこに記載されているURLへ飛ぶと、怪しいと思われる日付、金額、請求先が書かれており、この内容に心当たりがなければカードはスキミングされているというものであった。確かに心当たりがないのでそのように回答すると、それではすぐに機能を停止しますとなった。これは新手の詐欺なのか？とも思ったが、こちらの情報は何も打ち込んでいる訳ではないので騙されたとしても大したことにはならないと思い、そのままにしておいた。後日これが本物と分かり、手続きをすることとなった。

怪しいメールはよく来る。日く、あなた宛ての荷物が届いているので連絡願います。日く、おめでとうございます！何々に当選したので…。日く、こちらは国税庁ですが、あなたの納付すべき税金が…。とにかくあの手この手で騙してお金を取ろうとする人がたくさんいるようだ。

目的はお金とは限らない。いわゆる変質者と呼ばれる人たちもいるのだ。彼らはメールではなく、学校帰りの子どもたちへ直接言葉巧みに近づいて来る。当然親は「知らないおじさんとは話してはダメ」「何か買ってあげると言われてもついて行ってはダメ」と言わざるを得ない。人を信じるな。なんて悲しい世の中なのだ。

我々補導委員は今日も街なかを巡回し、機会を捉えて子どもたちに話し掛けます。大丈夫おじさんたちは君たちの味方だよと気持ちを込めて。

環 境浄化活動

青少年の目に触れさせたくない成人向け雑誌などを回収するため、福島駅など市内6か所に白ポストを設置し、定期的に回収・処分を行っています。青少年健全育成のための環境を整えることも補導委員の活動の一つです。



白ポストの回収

特 別補導活動

お祭りやイベントの際に会場周辺の巡回を行います。

今年度は、「花火大会」・「わらじ祭り」・「福島稲荷神社秋の例大祭」に加え「暁まいいり」の時に補導活動を行いました。露店の陰や、暗がりでは不健全な状況はないか？子どもたちに声をかけながらの補導活動です。

警察官・PTA・教職員など、様々な立場の方々が子どもたちの安全のため活動していることを再確認し、我々もその一助となればという気持ちで頑張っています。



わらじ祭り特別補導

視察研修を実施しました

中央地区補導委員 大河内 秀也

令和6年10月17日東日本大震災・原子力災害伝承館の見学と相馬市民会館での研修会があり補導委員18名で参加しました。

2011年3月11日巨大地震が発生し私たちに大きな爪跡を残しました。辛くとも後世につないでいかなければならない記憶です。伝承館での見学では、復旧復興への取り組みなど被害がもたらした教訓を痛感し、後世に伝えていかなければならないことを強く考えさせられました。

次に研修会では、県警本部少年女性安全対策課の小泉理恵氏による講演があり、福島県の少年非行の現状について詳しく解説していただきました。中でも驚いたのが不良行為少年の増加です。前年に比べて11%ほど増加しており、行為別では深夜はいいが最も多く、次いで喫煙、飲酒、家出、粗暴行為と続いています。学職別では、高校生が最も多く、次に中学生となっております。講演で感じたことはやはり街頭補導活動における「愛のひと声」の大切さです。青少年が健やかに成長できるように思いやりをもってひと声をかけることが大切だと思います。

今回視察研修に参加し学んだ青少



県連絡協議会補導委員研修会へ参加

年を非行から守ることで災害時の備えを後世に伝える言葉の重要性を念頭において、日々の活動に務めてまいります。

補導委員会方部懇談会参加報告

飯坂方部補導委員 長谷部 周二

令和6年度補導委員会方部懇談会は、補導委員会役員12名、飯坂方部補導委員11名参加のもと開催されました。懇談に先立ち、会長及び飯坂支所長より、この会で補導活動状況の把握や情報交換により、今後の活動の参考となることを願っているとの挨拶がありました。

第1部は事例紹介・意見交換で、中央地区及び県内の補導の現状や課

題について報告されました。市民から見える所で活動している青少年においてはほぼ問題なく、見えない所で活動している青少年について、より関心を持つていくことを大事にしたいとのことでした。生徒・学生は塾などで帰宅時刻が遅くなっているように感じており、一人ひとりを尊重した「愛のひと声」運動が必要で、引き続き見守っていききたいとのことでした。補導委員が見守っているという姿勢を青少年に見てもらうことが大事であり、社会全体で見守っていききたいものです。

第2部は福島市中学校長会の加藤広明氏（西根中学校長）より「地域の青少年の現状・小中学生はどこで何をしているのか」と題し講演していただきました。青少年を取り巻



補導活動に関する意見交換を実施

く環境は、新型コロナの流行、核家族化、スマートフォン等SNS通信による意識や行動は以前とは比べものにならないほど変化しているとのことでした。放課後及び休日の過ごし方についてアンケートを取った結果、スマホ・PCでの動画視聴・SNSをしていて、家族と一緒に出かけたり、友達と過ごす時間が減少傾向にあるとのこと、人間形成に大事な時期の青少年を見守ることを尊重した「愛のひと声」運動が広がることを願った次第でした。

青少年健全育成 功労表彰受賞

福島県青少年健全育成推進大会の席上、補導活動を通じて長年の青少年指導の功績が認められ次の方が表彰されました。

○福島県青少年

育成県民会議会長表彰

景井 正明（吉井田）



〈 各 方 部 か ら の 活 動 報 告 〉

中央地区



日中補導では各班6名で当日補導ルートを決めて巡回します。福島駅周辺の公共、商業施設、公園を回ります。ゲームセンター、館内のトイレ、通路、白ポストは特に注意しています。学習室など受付の人がいる場合必ず委員証を提示し、当日の子どもたちの状況を聞かせていただいています。最近は声がけを子どもたちのほうから「こんにちは」と言われることが多くなり、補導活動が浸透してきていると感じます。

最近子どもたちを狙う殺傷事件が起きています。青少年センターの青いジャンパーを着て「気を付けて帰ってね」と目を合わせ、声を交わしながら巡回することで犯罪抑止に繋がればと思い、活動を続けていきます。

中央地区 大山 直子

飯坂方部



飯坂方部は15名で年間の活動を行っています。私は9年目になりますが、以前は巡回中に多くの児童・生徒さんたちを見かけることがあり、皆気持ちの良い挨拶を返してくれたのですが、最近ではあまり子どもたちの姿を見かけなくなりました。少子化の影響を感じ寂しく思っています。

巡回は、飯坂管内の他、十六沼公園、イオン福島店、また、福島北警察署とパトカー同行の巡回、飯坂けんか祭り、湯野祭礼などでも行っていますが、現在まで特に目立ったトラブル等はありません。これも長年にわたり先輩方が活動が続けてこられたからと感じております。これからも、皆さんと、明るく仲良く地域に根ざした活動を続けていきます。

飯坂方部 渡邊 優子

松川方部



松川方部は10名で活動しておりますが、大半が仕事の都合上小中学校の下校時間に活動できないため、19時からの活動となります。

ひと月ごと交互に松川駅と金谷川駅で、その時間に電車で帰ってくる生徒・学生・社会人の皆さんに挨拶活動を行っています。その間に年2回金谷川駅に設置してある白ポストの回収、各地域での祭礼や夏休みに駐在所や松川支所との合同パトロールを行っています。祭礼では他の健全育成の団体と一緒にすることもあります。みなさん地域の子どもたちを見守っていくという共通の認識で活動をしていらっしゃるの、とても頼もしく思っています。今後も継続して活動をしていきます。

松川方部 加藤 行郎

信夫方部



信夫地区では地域内の子供会が解散する地区もみられ今までの地域の輪・大人たちとのふれあいも遠のいています。また、子どもたちが屋外や公園での遊び、自転車に乗っている姿など私が少年の頃では当たり前的情景を見ることが少なくなっているように感じています。現状を鑑み、信夫方部では各小中学校へ訪問し先生方と意見交換を交え非行防止につなげる話や小中学校・高等学校での非行防止チラシ配布活動の実施、また地域のお祭り事など人が集まる場所へ積極的に参加し補導活動を行っています。

今後は、子どもたちの「こころの声」をいかに聴くことができるか補導活動を通して地域の非行防止に努めていきたいです。

信夫方部 熊坂 誠

吾妻方部



吾妻方部は、野田・庭坂・庭塚・水保の4地区で、地区ごとに月1回の巡回活動を実施しています。地区内には、カラオケ店・コンビニなどがあり、カラオケ店では中でお話を聞くなどしています。コンビニに溜まっている子どもは見かけなく、子どもたちの活動もあまり見ないのが現状ですが、問題がゼロにはなっていません。

やはり活動内容の見直しや地域の関係各所と連携・情報共有し、巡回活動をするように変化していないと、本当に困っている子どもたちへの手助けができないのではないかと考えています。メンバーの皆さんも時間の都合を調整しながら活動しているので、大変ありがたいと思います。

吾妻方部 丹治 将弘

飯野方部



飯野町内4地区の補導活動を2名の補導委員で実施しております。通常補導は町内の交通量が多い交差点で子どもたちの安全確保とパトロール車に乗って通学路や公園などを巡回しております。特別補導としては町内で催されるお祭りや歩行者天国の会場にて薬物乱用やSNSを正しく利用する啓蒙活動を行いました。

これまで青少年補導活動に4年間携り、何事もなく地域の子どもたちの成長を間近に見ることができたのは補導委員として大変喜ばしいことです。昨今の子どもたちを取り巻く環境は益々複雑多様な時代になって来ておりますが、健全なる育成の一助になるように見守り活動を続けたいと思います。

飯野方部 齋藤 秀謙

補導委員 街頭補導日誌から

〓 吾妻地区通常補導活動〓

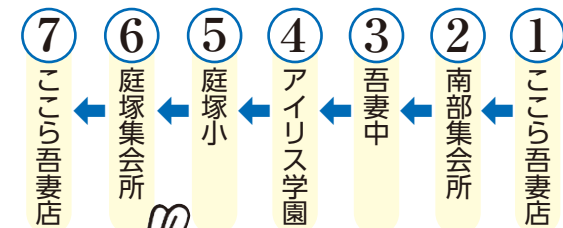
11月22日 (金) (晴れ)

11月下旬であるがとても暖かく、黄色い帽子をかぶった1年生が2人、嬉しそうに走りながら下校していた。

車でのお迎えが多いが、一組だけ学校まで迎えに行かずに、子どもを歩かせて下校させている保護者があり、なるべく歩いて下校させるという姿勢が見られた。

先日、学習発表会を参観したが、

巡回ルート



どの学年も素晴らしい発表で、学校生活を落着いて送っており、満足感や充実している様子が感じられた。この調子で、無事故で2学期を終了してほしい。

福島市内非行少年等補導状況

区 分	≪犯不良行為	刑 法 犯	特別法犯	計
令和4年	122	28	6	156
令和5年	224	27	3	254
令和6年	245	57	5	307
平成17年 (最高値)	3,878	417	4	4,299

※警察資料より

- ≪犯少年** 将来罪を犯すおそれのある少年
- 不良行為少年** 非行少年には該当しないが、飲酒や喫煙等で指導された少年
- 刑法犯少年** 刑法等の法律に規定される犯罪行為をした少年
- 特別法犯少年** 刑法及び道路交通法以外の犯罪行為をした少年

各種相談窓口

悩みごと	相談窓口	電話番号	受付時間
どんなことでも	チャイルドライン ※チャットあり	0120(99)7777	毎日 16:00~21:00
いじめ問題や子どものSOS全般	ふくしま24時間子どもSOS	0120(916)024	24時間 年中無休
子育てに関する悩みや不安など	こども家庭センター・えがお(市こども家庭課内)	024(525)3780	平日 8:30~17:15
不登校や問題行動など	市総合教育センター	024(536)7700	平日 9:00~17:00
子どもの非行問題など	ヤングテレホンコーナー	024(525)8060	平日 9:00~17:00
架空請求、契約上のトラブルなど	市消費生活センター	024(522)5999	平日 9:00~16:00

インターネット利用に潜む青少年の危険

その1 SNS利用による性被害

SNSやゲームサイトなどで知り合った人からの誘い出しを受けて、子どもが性的被害を受けるケースが増えています。

〈家庭内でできること!〉

- ①フィルタリングを利用しましょう ②子どもの成長にあわせたルール作りをしましょう

その2 闇バイトへの勧誘

SNS上で「闇バイト」に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまい逮捕されるケースが増えています。

〈こんなことには注意!〉

- ①「高額」「即日即金」「ホワイト案件」等を強調する求人情報は「闇バイト」!
②「テレグラム」「シグナル」等の匿名性の高いアプリへの誘導は「闇バイト」の可能性!
③SNSやインターネット上で個人情報を要求されたら要注意!

「闇バイト」は「バイト」ではなく「犯罪」です!!

編集後記

私たちの補導活動は、子どもたちの見守りを通じて非行を未然に防ぐという目的のため行っているものですが、近年、肝心の子どもたちの姿を目にする機会が極端に減っています。

補導活動の中で子どもたちに遭遇した場合、補導委員は、従来の声をかける対象とはならない子どもたちにも「愛の声かけ」を行っています。子どもたちが健やかに成長できるように「愛の声かけ」を行い、地域には子どもたちを見守っている大人がたうために、補導活動をしていきます。



【編集委員】

佐藤 達哉 (補導委員会会長)
橋本 勢津子 (中央地区)
村上 毅 (中央地区)
紺野 律子 (飯坂方面)
歌川 正 (松川方面)
半澤 浩子 (信夫方面)
菅野 啓二 (吾妻方面)
齋藤 秀謙 (飯野方面)